

臨床検査コースの専門教育課程について

臨床検査コースでは、生命の尊厳に基づいた生活の質を理解するとともに、基礎医学、臨床検査学の幅広い学びを通して、国民の健康を支え、医療社会に貢献し得る人材の養成を目的とする。

①臨床検査コース修了認定の方針

臨床検査コースでは、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生にコース修了の認定を行う。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

- (1) 医療人としての強い生命倫理感を有し、基礎医学・臨床検査学の健康に対する重要性を理解している。
- (2) 基礎医学・臨床検査学を通して修得した専門的知識や技能をもとに、正確かつ精密な臨床検査を行う能力を身につけている。
- (3) 臨床検査学の専門家としてチーム医療に貢献できる能力を身につけている。

2. 他者との協同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

- (1) 基礎医学・臨床検査学に基づいた基礎的・専門的な知識と技能を活用し、他者と協同して健康に関する課題を発見・解決できる。
- (2) 基礎医学・臨床検査学的思考力に基づき、健康に関する課題の発見・解決に至った過程を論理的に表現することができる。
- (3) 今日の医学上の課題に対して、臨床検査学に関連する手法を用いて考察することができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

- (1) 基礎医学・臨床検査学の学びから、医療の進歩・発展に適応できる意欲と能力を身につけている。
- (2) 臨床検査学と関連分野の発展・向上のために、社会貢献しようとする意欲と自己研鑽の姿勢を有している。
- (3) 臨床検査学の分野で国民の健康維持に貢献するために、探究心と責任感を持って困難な課題に取り組むことができる。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

- (1) 国際社会が直面している健康や臨床検査に関する課題に対し、グローバルな視点で多様な文化のあることを理解し、解決に向けた協力ができる。

②臨床検査コースの教育内容と教育方針

健康科学科臨床検査コースでは、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。そして、本学の教育理念に基づき、健康を支える臨床検査学分野のスペシャリストを育成する。

1. 教育内容

- (1) 臨床検査コースは、各年次に設けられた自然科学、基礎医学、臨床検査学などの専門科目の実践的な学びを通して、臨床検査学の専門的立場から国民の健康を支える人材を養成する。
- (2) 本コースの専門教育科目では、臨床検査技師養成に必要となる一般検査学、生化学検査学、病理検査学、血液検査学、免疫検査学、微生物検査学、生理機能検査学などの講義科目と実習科目をコース必修科目として履修することで、臨床検査に係る学問領域を総合的に学び、専門職種としての知識及び技術を修得する。
- (3) 大学で学んだ知識や技能をもとに、3年次に医療機関や衛生検査所等で臨地実習指導者の指導を受けながら行われる臨地実習を通じて、臨床検査やチーム医療について実践的に学ぶ。

※ 取得可能資格及び免許：臨床検査技師国家試験受験資格、第二種作業環境測定士

2. 教育方法

- (1) 1年次で必修科目として学ぶ基礎教育科目・語学、健康科学の基礎的内容を礎として、2年次以降では学科共通の必修科目に加えて臨床検査コース必修専門科目を修得させる。
- (2) 臨床検査コースでは、アクティブ・ラーニングを取り入れた各種の演習授業・実習授業を通じた主体的な学びによって、問題解決能力を養う。
- (3) さらに、3年次と4年次での少人数制による卒業研究演習、卒業研究の履修を積極的に促進し、双方向的でかつ学生が主体的に課題に取り組むことのできる教育を実施する。

3. 評価方法

- (1) 学位授与方針で掲げられた能力の形成的な評価として、健康科学科臨床検査コースにおける卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、外部客観テスト等の結果によって測るものとする。
- (2) 卒業研究履修者においては、担当教員による研究指導をもとに、研究活動の状況と作成された卒業論文を評価の対象とする。